

明日への飛躍に挑む!

有力販社物語

会社と製品

(前号よりつづく)

検査する対象物を壊さず、損傷の有無を調べる非破壊検査。非破壊検査関連製品の一翼を担うエアゾール金属探傷剤は、大きく浸透探傷剤と磁粉探傷剤に分けられる。浸透探傷剤とは、試験対象の材質にかかわらず、殆ど全ての材料・製品の表面検査に使用可能。試験体の表面に開口している微細なキズに、見えやすい色や輝きを持たせた浸透性のよい液体(浸透液)を浸み込ませ、再度表面に吸い出すことによりキズを拡大して見つけ出すことができる方法である。染色探傷と蛍光探傷方法があり、それぞれ

洗浄剤(除去剤)・浸透剤・現像剤の3液が用いられる。一方、磁粉探傷試験とは、鉄鋼など強磁性材料を磁化し、表面に磁粉を散布、キズに付着した磁粉によって目視観察でキズが検出できるという試験方法である。

マークテック株式会社エアゾール金属探傷剤を発売したのは1955(昭和35)年。当時は液体タイプ・はけ塗りが主流だったが、同社はエアゾール剤型の利便性や機動性に早くから着目し開発に乗り出した。エアゾール化することにより、はけ塗りの欠点解消、小型で軽便、携帯に便利、特別な設備を必要とせず、足場の悪い所でも使用できるとして、産業界に広く普及する要因となった。

マークテック

その2

同社の金属探傷剤において主力となるのが染色浸透探傷剤「スーパッチェック」だ。洗浄液、浸透液、現像剤それぞれ目的・用途や対象物によつ

て細分化された製品構成となっているが、大きく分類すると、一般材料用「STシリーズ」、低ハロゲン・低イオウ「Tシリーズ」、不燃性・非危険物「NU・Gシリーズ」からなる。同社によると「近年の市場環境を振り返ると、リーマンショック以降の国内市場の縮小、東日本大震災やタイの洪水被害、また、長く続いた円高基調による国

要の回復を実感している(取締役営業部長・栗原氏)とい

る(取締役営業部長・栗原氏)とい

当PRT法に非該当

を揃えている。また、工業部用品用脱脂洗浄剤「パークリーナーDT」スーパークリーナーST「シャノンボ」や、ケガキ剤「アオタケゾール」も展開している。



生物や環境に優しい染色浸透探傷剤「エコチェック」

回復基調の金属探傷剤

グローバル展開を加速 環境対応品が着実増

内産業の疲弊、設備投資の落ち込みや、エコカー減税終了による自動車生産台数の減少など、非常に苦しい状況が続いた。しかし、今年の探傷剤の販売状況を見ると前年比増。自動車向け、鉄鋼向け、プラント向けともに、全体的に少しずつだが需

特定化学物質等予防規則・水質汚濁防止法の指定物質を不使用と年物や環境に優しいエコ製品である。一般材料用「E・S Tシリーズ」、低ハロゲン・低イオウ「E・Tシリーズ」を揃えている。さらに昨年は「スーパッチェック」低ハロゲン

このほかにエアゾール金属探傷剤として、蛍光浸透探傷剤「スーパークロー」シリーズや、磁粉探傷剤「スーパーマグナ

(おわり)文責・生電

